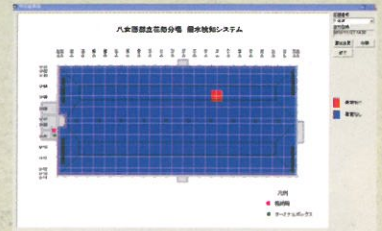
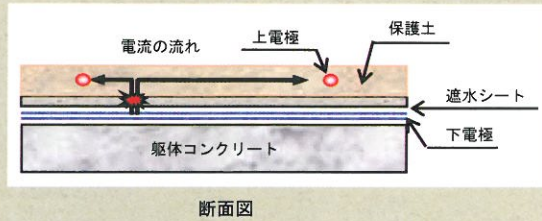
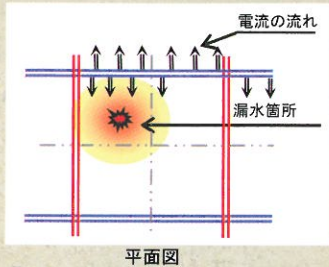


遮水工破損検知システム（漏水検知システム）

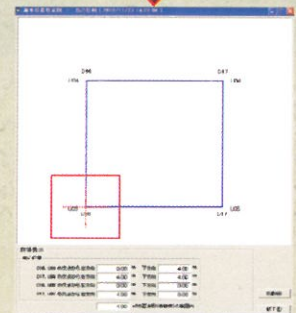
本処分場には電氣的に漏水を検知するシステムが設置されています。
このシステムは、シートをはさんで上下に銅製の電極を設置し、下側電極に1本ずつ電圧を加え、上側電極に流れる電流値を1本ずつ順に測定します。

万が一漏水が発生した場合、その漏水を介して電流が流れます。その量は距離に反比例するため、その電流量を測定することにより位置を特定することができます。位置検知精度として電極間隔（4m）の1/2以内、面積で1メッシュの1/4以内の特定が可能となります。

この測定結果は通信回線により組合の管理事務所へ送られ、漏水などの異常があれば画面に警報表示が出るようになっています。



解析結果表示画面

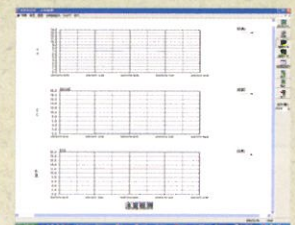
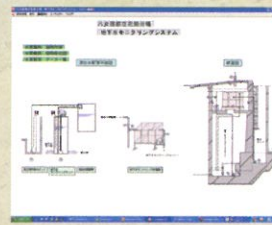


地下水モニタリングシステム

上記の漏水検知システムと併せて、本処分場には地下水の水質を自動的に監視するシステムが設置されています。地下水モニタリングピットに集められた地下水のpHおよび電気伝導度（EC）を測定し、その結果は漏水検知システムと同じ通信回線で事務所へ送られています。

万が一漏水が発生した場合、地下水が汚染されたかどうか、水質を測定することにより判断することができます。

通常pH計は定期的に校正や洗浄を実施しなければなりません。本処分場のシステムは自動的にこの作業を実施するため、完全無人化を実現しております。



システム構成図

